

保育士等専門研修② 開催要綱

趣旨 保育者としての経験を保育実践に生かすとともに、さらなる質の向上を目指し、子どもの発達や保護者支援等について様々な対応や視点を学びます。自らの保育を客観視・言語化する重要性を理解し、多様な視点が必要とされる保育と保護者支援について改めて考えることを目的に開催します。

開催形式

集合

対象

現職経験年数が3年以上の保育所保育士等

定員

60名

日程・会場

令和6年9月18日（水）～ 9月19日（木）
旭川市／旭川トーヨーホテル 3階 翡翠の間
（旭川市7条通7丁目32-12）

研修費用

4,000円（共通教材費）

申込期間

令和6年7月10日（水）～8月8日（木）

受講可否

令和6年8月15日（木）までにご連絡します。

プログラム

	日程・時間	研修科目	研修内容
1 日 目	9:45~10:15	受付	研修費用の支払い
	10:15~10:30	オリエンテーション	日程、資料等の確認
	10:30~12:30	講義1・討議1 「保育の動向と保育者の役割」	保育をめぐる動向と北海道内における施策の実施状況について、確認します。 「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について、改めて意識を高め、自身の保育を振り返ります。
	12:30~13:30	休憩・昼食	
	13:30~15:30	講義2・実技 「自然と触れ合う保育の実践」	自然とのふれあいから、保育者として子どもに伝えていくことや感じてほしいことを改めて考えます。 身近な自然を生かした設定保育の実践に向けて、その展開方法や留意点について学びます。
2 日 目	9:30~12:00	講義3・演習 「子ども虐待への対応と保育施設に求められる役割～子ども・保護者への関わり方のポイント～」	児童相談所等における児童虐待相談対応件数は年々増加傾向にあります。 保育者は子どもや保護者と日常的に接する立場にあり、保護者の育児不安や様々な悩みにいち早く気づき、その専門性を活かした支援を行うことができます。 保護者の悩みに向き合い支えることで、児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応に繋がる保護者支援について考えます。
	12:00~13:00	休憩・昼食	
	13:00~15:00	講義4・討議2 「『気になる子ども』の保育」	発達障がいを含む、発達面で『気になる子ども』について、なぜ保育者は気になるのでしょうか。そこには専門職の視点があるはずです。改めてこの要因を考察することで、日常的な保育で配慮すべき点について学び、子どもや保護者への支援について考えます。
	15:00	閉講	

※申込み多数の場合は、一事業所あたりの受講者数を制限させていただく場合があります。

本研修は、北海道の委託を受け実施します。